

**平成 30 年度行政提案型市民協働事業実施報告書**  
**(狛江市ラグビーフットボール協会との市民協働事業)**

**1. 事業概要**

近隣の東京スタジアムにおいて、ラグビーワールドカップ 2019 が開催されることを踏まえ、市内における大会に関する興味関心を高め、大会に向けた気運を醸成するとともに、地域スポーツの振興を図ることを目的として、次の事業を実施した。

- (1) プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー
- (2) デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室

**2. 主催**

狛江市

狛江市ラグビーフットボール協会

**3. 事業形態**

狛江市と狛江市ラグビーフットボール協会との市民協働事業  
(平成 30 年度行政提案型市民協働事業)

**4. 事業実施経過**

実施日	内容
6月21日(木)	会議(バスツアーに関する企画の検討, バス事業者の選定等)
8月23日(木)	会議(ゲスト選手に関する検討等)
9月20日(木)	会議(運営方法及び開催場所の検討, 各事業進捗状況の確認, チラシデザインの確認等)
10月1日(月)～ 10月14日(日)	プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー 参加者募集
10月15日(月)	プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー 参加者抽選作業
10月25日(木)	会議(参加者及びチケット手配に関する確認, 当日の進行に関する検討等)
11月1日(木)	デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室 参加者募集開始
11月3日(土)	プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー
11月10日(土)	会議(講演会・タグラグビー教室の運営及び進行に関する検討)
11月24日(土)	デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室
1月24日(木)	会議(事業の課題・反省点の検討等)
3月7日(木)	会議(事業の経費・支払い状況に関する確認)

## 5. 各事業詳細

### (1) プロ選手と行く ラグビー日本代表選観戦ツアー

#### 【実施内容】

リポビタミンD チャレンジカップ 2018 (ラグビー日本代表対ニュージーランド代表)の試合を観戦するバスツアーを実施した。

参加者が試合を楽しみながら観戦できるよう、試合を観戦だけでなく、ラグビートップリーグで活躍する現役のラグビー選手2名が帯同し、往復のバス移動時や試合観戦時にラグビーのルールや試合の見所等を解説した。また、試合後には、サインや記念撮影等、参加者とゲストが交流する時間を設けた。

#### 【実施日】

平成 30 年 11 月 3 日 (土)

#### 【会場】

東京スタジアム

(集合解散場所：狛江市役所市民ひろば)

#### 【ゲスト】

垣永真之介選手 (サントリーサンゴリアス)

中村 駿太選手 ( )

#### 【対象】

狛江市民 (在住・在学・在勤)

#### 【参加者数】

135 名 (大人：84 名，子ども：51 名)

(応募総数：200 名※抽選により参加者を選定)

#### 【スケジュール】

- 12：00 集合 (狛江市役所市民ひろば)
- 12：15～12：50 バス移動，  
車内でゲスト選手による競技のルールや試合観戦の見所の解説
- 12：50～14：45 会場到着，自由行動
- 14：45～16：30 試合観戦，ゲスト選手による試合解説
- 16：30～17：00 記念撮影，ゲスト選手との交流 (サイン会) 等
- 17：00～17：30 会場からバス乗場まで移動
- 17：30～18：00 バス移動，  
車内でゲスト選手による試合の振り返り，質疑応答
- 18：00 解散 (狛江市役所市民ひろば)



## 【事業成果】

ラグビーワールドカップ 2019 が開催される大会会場において、出場国同士のレベルの高い試合を観戦することで、ラグビーワールドカップ 2019 に対する興味関心を高めることができた。また、初心者ではわかりにくい競技のルールをゲスト選手が参加者に解説することで、子どもたちやラグビー初心者の方でも試合を楽しみ、ラグビーの競技に対する理解を深めることができた。特に参加した子どもたちにとっては、レベルの高い試合の観戦やゲスト選手との交流等は、忘れられない思い出となり、今後の健やかな成長につながる事業となった。

## 【写真】



## (2) デフラグビー日本代表による講演会&小学生タグラグビー教室

### 【実施内容】

ラグビーワールドカップ 2019 開幕 300 日前にあわせて、デフラグビー※日本代表の監督・選手による講演会とタグラグビー教室を実施した。

講演会では、監督がデフラグビーの特徴やルールの解説、日本代表の戦績等の紹介をした後、選手が選手間のコミュニケーションの方法やボールを使ったパスワーク等を披露した。タグラグビー教室では、子ども達は、身振り手振りで選手とコミュニケーションを図りながら、ステップの踏み方、ボールの持ち方、パスの仕方といった実践形式の体験を行った。

※デフラグビー：聴覚に障がいがある方（デフ=deaf）が取り組んでいるラグビー

### 【実施日】

平成 30 年 11 月 24 日（土）

### 【会場】

和泉小学校体育館

### 【ゲスト】

デフラグビー日本代表監督・選手

### 【対象】

小学生（親子）

### 【参加者数】

31 名

### 【スケジュール】

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 8 : 30 ~ 9 : 00   | 受付   |
| 9 : 00 ~ 9 : 40   | 開会式<br>デフラグビー日本代表監督による講演会<br>選手によるデモンストレーション |
| 9 : 40 ~ 11 : 40  | タグラグビー教室                                     |
| 11 : 40 ~ 12 : 00 | 記念品贈呈, 記念撮影                                  |
| 12 : 00           | 閉会式, 事業終了                                    |

### 【事業成果】

障がいがあっても前向きに努力を続ける選手との交流やラグビー指導を通じて、障がい者に対する理解を深めるとともに、競技に対する興味関心を高めることができた。ラグビーワールドカップ 2019 開幕 300 日前にあわせて、ラグビー事業を実施することで、大会に向けた気運を醸成することができた。



【写真】

